

令和5年度熱田区区政運営方針

熱田区将来ビジョンに基づき、今年度に区役所が実施する主な取り組みを区民の皆さまにお知らせするものです。

中長期の
取り組み

熱田区将来ビジョン(令和2年度～令和5年度)

具体的な
取り組み

令和2年度
区政運営方針

令和3年度
区政運営方針

令和4年度
区政運営方針

令和5年度
区政運営方針

熱田区将来ビジョン

区を取り巻く社会状況の変化を踏まえ、めざすべき区の姿を明らかにし、その実現に向けた中長期の取り組みを体系化したもの(令和2年5月策定)。

基本目標

住みたくなるまち 訪れたいまち あったか熱田

めざすべき将来像

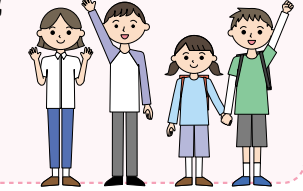
将来像1 安心・安全で快適なまち

安全に、不安なく暮らすことは最も優先されるべきことであり、区民の皆さまが安心・安全で快適に暮らせるまちをめざします。



将来像2 安心して子育てができ、子どもや若者が健全に育つまち

子育てへの不安や負担を軽減し誰もが子どもを安心して産み育てることができ、子どもや若者が地域の中で健全に育つまちをめざします。



将来像3 誰もが「生きがい」や「あったかさ」を感じられるまち

子どもから高齢者、障害のある人などさまざまな地域の人々が交流と支え合いを通じて「生きがい」や「あったかさ」を感じられ、いきいきと暮らせるまちをめざします。



将来像4 歴史的資産、文化的風土を活かした活気あるまち

熱田の特徴である古代から受け継いだ歴史や文化、自然など、地域の特性を活かしながら、地域の皆さまとともに活気あるまちづくりを推進します。



区政運営

皆様に信頼されるあったか区役所

「元気に 明るく 人にやさしい 熱田区役所」のスローガンのもと、区民の皆さまに一番身近で信頼される区役所をめざします。

将来像1 安心・安全で快適なまち

取組 1	防犯対策	取組 9	大規模災害時における地域と事業所との支援協力
取組 2	交通安全対策	取組 10	地区防災カルテを活用した地域防災力の向上
取組 3	放置自転車対策	取組 11	指定避難所運営力の向上
取組 4	空家及びいわゆる「ごみ屋敷」対策	取組 12	区災害対策本部の機能強化
取組 5	戸別訪問による防災啓発	取組 13	災害ボランティア団体との連携強化
取組 6	家具転倒防止ボランティアの養成及び派遣	取組 14	町を美しくする運動
取組 7	区民総ぐるみ災害対応訓練の実施	取組 15	ペットの適正な飼い方と災害時対応の普及啓発
取組 8	自主防災組織の育成支援		

将来像2 安心して子育てができ、子どもや若者が健全に育つまち

取組 16	妊娠期からの切れ目のない支援	取組 20	児童虐待の防止
取組 17	子育て支援に係る情報発信	取組 21	学校における思春期セミナー実施の支援
取組 18	子育ての仲間づくり	取組 22	子どもの健全な育成
取組 19	子育てと介護の「ダブルケア」に関する啓発事業	取組 23	事故や犯罪に巻き込まれない環境づくり

将来像3 誰もが「生きがい」や「あったかさ」を感じられるまち

取組 24	文化活動の振興	取組 29	地域福祉活動の支援
取組 25	スポーツの振興	取組 30	高齢者虐待の防止
取組 26	健康づくりの推進	取組 31	高齢者の仲間づくりの推進
取組 27	新型コロナウイルスなどの感染症防止対策の普及啓発事業	取組 32	認知症の方や家族への支援
取組 28	包括的相談支援体制の構築	取組 33	地域包括ケアシステムの推進
		取組 34	障害者への支援

将来像4 歴史的資産、文化的風土を活かした活気あるまち

取組 35	区民の交流、ふれあいの場づくり	取組 38	歴史資料展示
取組 36	地域資源を活用した魅力発信	取組 39	熱田ブランドの推進
取組 37	“あつた人(びと)”育成事業 VRを活用した熱田周遊向上事業	取組 40	町内会・自治会への加入促進の支援
		取組 41	地域団体・大学などの活動支援

区政運営 皆様に信頼されるあったか区役所

取組 42	お客さまの目線に立った接遇	取組 44	さまざまな場面での区民ニーズの把握
取組 43	業務改善	取組 45	さまざまな情報媒体の活用

「令和5年度熱田区区政運営方針」の詳しい内容は、熱田区役所のウェブサイト

<https://www.city.nagoya.jp/atsuta/> でご覧いただけます。



熱田区役所企画経理室

〒456-8501 名古屋市熱田区神宮三丁目1番15号

TEL: (052) 683-9688 FAX: (052) 682-1496

E-mail: a6839686@atsuta.city.nagoya.lg.jp

君を待つまち 熱田



令和5年度 熱田区区政運営方針 主な取組項目



：新規事業



：拡充事業

※記載内容は、4月当初に計画したものです。社会情勢の変化により、取組内容が変更となる可能性があります。

安心・安全で 快適なまち



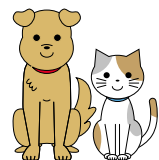
安心して暮らせる まちづくりの推進

地域の皆さまや関係機関と協働して、犯罪被害を防ぐためのキャンペーンやパトロール、交通安全啓発活動、放置自転車防止に向けたキャンペーンを実施します。

快適なまちづくりの推進

地域の皆さまと連携して清掃活動を実施します。また、空地の適切な管理に向け、啓発や指導を行います。

関係機関と協力して、ペットの適正な飼い方を啓発します。



災害に強いまちづくりの推進

戸別訪問により各家庭の状況に応じた防災啓発を実施します。震災被害を軽減するため、家具転倒防止ボランティアを派遣し、自助力の向上を支援します。

風水害や地震災害に備えて、家庭や地域での災害対応に関する実践的な訓練や講習などを実施します。

また、全区で安否確認訓練を行います。



地区防災カルテを活用し、想定し得る最大規模の災害への対応を含めた地域防災力を高める取り組みを進めます。併せて、安否確認や速やかな救出、避難誘導ができるよう避難行動要支援者対策を推進します。

歴史的資産、文化的風土を 活かした活気あるまち



地域活動への支援

町内会などが行う地域活性化への取り組みを紹介し、町内会・自治会の重要性の広報や、地域活動の担い手不足などの課題解決のため、地域活動の支援を進めます。



あつたの魅力向上・魅力発信

“あつた人(びと)”育成事業 VRを活用した熱田周遊向上事業

江戸時代の熱田の町並みをVR(仮想現実)で体感できるコンテンツを開発し、熱田の魅力を区内外の方に発信することで、新たな“あつた人(びと)”を育成します。

熱田ブランドの推進

産学民官が連携し、熱田ブランドのロゴマークなどを活用しながら、「熱田ブランド+（プラス）」のウェブサイトやInstagramで重層的に存在する熱田の魅力を区内外に発信します。



「熱田ブランド+（プラス）」

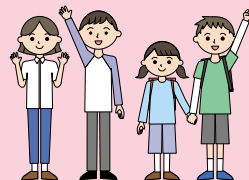
心の豊かさやぬくもりが感じられるまちづくりをめざし、「熱田区区民まつり」（にぎわい秋まつり、文化祭）を開催します。

熱田の魅力を再発見していただけるよう、区内各所にマルシェを設置し、大学や商店街などと協働で「あつたか！あつた魅力発見市」を開催します。

区役所の歴史資料展示コーナーなどで歴史資料を展示します。



安心して子育てができ、 子どもや若者が健全に育つまち



子育て支援

妊娠中のご夫婦、ご家族が、子育てに関する問題解決のスキルを学び、出産後の子育ての不安を解消し安心して育児ができるよう支援します。



子育て支援に関する情報や複雑化する保育施設に関する情報を提供します。また、育児の不安や悩みを一人で抱え込むことがないように子育て教室などを開催します。

青少年健全育成の推進

年少リーダー講習会やキャンプ実習、子ども会プログラミング大会などの活動を通じて、子ども会の情報を発信し、関心を高めるとともに、参加を促します。



子ども達への見守りや声かけを行う「青少年を守る運動」や「地域の世話やき活動」などの活動を地域の皆さまや学校、関係機関と連携して支援します。

誰もが「生きがい」や 「あつたかさ」を 感じられるまち



包括的相談 支援体制の構築

多様化・複雑化した課題に対応するため、高齢者や障害者、子どもなどの属性や相談内容を問わない包括的な相談支援体制を構築します。

生涯学習の振興

生涯にわたって生き生きと活動し、地域社会のきずなを強められるよう、文化事業の実施やスポーツ振興を推進します。

地域の魅力について学べる機会を提供します。

地域福祉の推進

支援の必要な方を必要福祉サービスにつなげる活動を推進します。



区民の健康 づくりの推進



地域団体と連携してロコモ※、オーラルフレイル※、栄養などを内容とするフレイル※予防の教室や講座を実施します。
※ロコモ：関節や筋肉などの運動器の機能低下により、立ったり歩いたりすることが困難になってしまう状態
※オーラルフレイル：口腔機能におけるフレイル
※フレイル：虚弱

高齢者への支援

認知症の正しい理解を促進するため、各種取組を通じて広報啓発を実施します。

高齢者サロンの運営や老人クラブ主催事業の支援を行い、高齢者の仲間づくりを推進します。



（児童による認知症絵画展）



地域包括ケアシステムの推進

高齢者が最後まで住み慣れた地域で自分らしく暮らすことを目指す「地域包括ケアシステム」について幅広い世代への理解を促進するため、啓発漫画や講演会等で情報発信します。

障害者への支援

障害に対する理解を深めるとともに、障害者の社会参画の機会を増やすために、区役所や区内商業施設における授産製品の定期販売を推進します。

